心臓外科



副院長
診療部長
(医療安全/医療技術担当)
診療科長
白神　幸太郎

専門医資格等　心臓血管外科専門医
心臓血管外科修練指導者
心臓血管外科専門医
京都大学臨床教授、非常勤講師
専 門 分 野　成人心臓大血管手術

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医　　長	片岡　　剛	心臓血管外科専門医 外科専門医 脈管専門医 心臓血管外科修練指導者	成人心臓大血管疾患	成人心臓大血管手術および周術期管理、血管内治療
医　　師	工藤　　雅文	心臓血管外科専門医 外科専門医	成人心臓大血管疾患	成人心臓大血管手術および周術期管理

□ 診療科の特徴

京都府南部地域における循環器疾患の基幹施設として機能すべく、2011年に開設。2013年までの実績により、心臓血管外科専門医認定機構より基幹施設認定を受けた。①心臓外科診療を通して人々のお役に立つ②手術や診療の透明性を確保する③循環器診療の最後の砦となる、という3つの診療指針の下、循環器内科、血管外科、救命救急科、麻酔科との緊密な連携を維持しながら安全な医療を提供するように努力している。

□ 主な対象疾患

虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞など）に対する冠動脈バイパス術
弁膜症（大動脈弁疾患、僧帽弁疾患など）に対する弁形成術や弁置換術、不整脈手術
大血管疾患（胸部大動脈瘤、急性大動脈解離など）に対する人工血管置換術、ステントグラフト内挿術

□ 診療（業務）内容

心臓大血管疾患の手術適応およびリスク評価を体系的にかつ厳密に行い、安全な手術治療を目指す。循環器内科、血管外科と共に心臓血管カンファレンスを行い、手術適応、術前リスクと治療方針の検討、周術期治療経過の報告を行い、治療の透明性を担保している。また緊急を要する症例について積極的に手術治療を行い、地域医療に貢献することを目標としている。

□ 診療実績（令和2年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
5.4名	54名	33.4日

外来患者数

1日平均患者数
4.5名

主な手術・検査の件数など（重複あり）

虚血性心疾患手術	心臓弁膜症手術	大動脈手術	ステントグラフト手術
13件	28件	10件	8件

手術方針：当科の手術方針としては、以下の通りである。

① 冠動脈バイパス術においては、可能な限り心拍動下手術を施行し、患者さんに与える手術の侵襲を最低限としながら最大限の効果を得ることを目標とする。

② 心臓弁膜症に対して、特に僧帽弁手術においては、弁尖の硬化や石灰化が無い限り自己弁を温存する形成術を第一選択とする。大動脈弁については、弁尖や弁論の石灰化のある症例が多く、確実な弁置換術を行う。

③ 大動脈手術は侵襲の低減化を図り、オープンステントグラフトや二期的ステントグラフト留置を組み合わせたハイブリッド手術も考慮する。

2020年実績：2020年手術実績（主たる治療対象疾患による分類）は以下の通りである。虚血性心疾患に対する手術13例、、心臓弁膜症に対する手術28例、胸部大動脈に対する手術10例、ステントグラフト留置術8例を施行した。手術手技としては、冠動脈バイパス術を行った19例のうちoff pump CABG11例、 on pump CABG8例であった。心臓弁膜症においては可能な限り弁形成術を行うが、弁形成を行った弁は15弁、弁置換を施行した弁は23弁であった。大動脈手術10例のうち、急性大動脈解離に対する緊急手術は3例に施行。

治療成績：2020年度には手術死亡は認められなかった。手術成績を全国データベースと比較すると以下の表の通りである。実際の手術死亡率、合併症発生率を太字で表しているが、患者の臨床データから予想される予測死亡率、予測合併症発生率を下回る良好な成績を2020年も維持することができた。データ計算可能な2013年からの通算成績は下段の通りで有り、概ね良好であった。

2020年手術成績

	実測手術死亡率	予測手術死亡率	**実績発生率（死亡+主要合併症）**	予測発生率（死亡+主要合併症）
冠動脈バイパス術	**0%**	4.72%	**7.69%**	16.55%
心臓弁膜症手術	**0%**	5.61%	**10.0%**	20.93%
大動脈手術	**0%**	11.35%	**20.0%**	33.06%

2013-2020年通算成績

	実測手術死亡率	予測手術死亡率	**実績発生率（死亡+主要合併症）**	予測発生率（死亡+主要合併症）
冠動脈バイパス術	**0.8%**	3.13%	**5.6%**	13.68%
心臓弁膜症手術	**3.56%**	6.87%	**10.22%**	21.39%
大動脈手術	**8.91%**	10.81%	**20.79%**	33.68%

□ 地域医療連携・広報活動

医師会、救急隊を通じての広報活動を行い、他院循環器内科とも積極的に協働している。院外からの手術目的紹介症例は年々増加している。

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名 等	演者（当院）	開催地	発表年月日
国内学会発表	第120回日本外科学会	結合織疾患における胸腹部大動脈人工血管置換術（第120回日本外科学会）	工藤 雅文	神奈川	2020/8/13
国内学会発表	第50回日本心臓血管外科学会学術総会	biogluを使用した急性大動脈解離術後の基部再解離4例	片岡 剛, 白神 幸太郎, 浅田 秀典	福島	2020/8/17
国内学会発表	第22回日本医療マネジメント学会総会	医療安全管理部門の治療介入	白神 幸太郎, 阿部 充, 塩早 苗, 山本 なお美	京都	202010/6
国内学会発表	第22回日本医療マネジメント学会総会	有害事象-患者、家族との関係をこじらせないために-	白神 幸太郎, 阿部 充, 塩早 苗, 山本 なお美	京都	2020/10/7
国内学会発表	第22回日本医療マネジメント学会総会	医療事故調査制度に対応する院内体制整備とその効果	白神 幸太郎, 阿部 充, 塩早 苗, 山本 なお美	京都	2020/10/7
国内学会発表	第22回日本医療マネジメント学会総会	宗教的輸血拒否患者に対する絶対的無輸血診療の実際	白神 幸太郎, 阿部 充, 塩早 苗, 山本 なお美, 片岡 剛, 工藤 正文, 浅田 秀典	京都	2020/10/7
国内学会発表	第61回日本脈管学会総会	Bacteroides fragilisによる感染性腹部大動脈瘤の1例	片岡 剛, 浅田秀典, 白神幸太郎	仙台	2020/10/13
国内学会発表	第48回日本血管外科学会学術総会	最大短径94mm の上行大動脈瘤を有する大動脈弁輪拡張症の一例	片岡 剛, 白神 幸太郎, 工藤 雅文, 浅田 秀典	東京	2020/11/27
国内学会発表	第51回日本心臓血管外科学会学術集会）	エホバの証人信者に対する開心術（第51回日本心臓血管外科学会学術集会）	工藤 雅文, 片岡 剛, 眞野 翔, 浅田 秀典, 白神 幸太郎	京都	2021/2/21

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
和文	片岡 剛, 白神 幸太郎, 浅田 秀典, 益永 信豊	高安動脈炎の病理像を示した多発性嚢状上行大動脈瘤の1例	脈管学	60	5	67-70	2020/05	原著論文	日本膜管学会
和文	水津 悠, 片岡 剛, 浅田 秀典, 白神 幸太郎, 笹井 由美子, 立木美香, 成瀬 光栄, 七野 力	心臓傍神経節腫瘍に対する心拍動下腫瘍摘出術の麻酔経験	Cardiovascular Anesthesia	24	1	85-90	2020/01	原著論文	日本心臓麻酔学会
和文	工藤 雅文	大動脈基部拡大と二尖弁を伴うStanford A型急性大動脈解離に対する自己弁温存基部再建術の1例	胸部外科	73	11	936-939	2020/10	原著論文	南江堂